

# 第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
-------	-------------------

---

施策2－1 地域医療の充実

施策2－2 健康づくり支援

施策2－3 出産・子育て支援の充実

施策2－4 保育及び幼児教育の充実

施策2－5 高齢者福祉の充実

施策2－6 障がい者福祉の充実

施策2－7 地域福祉の充実

施策2－8 多様性のある社会の実現

施策2－9 保険・年金制度の運営





O4 観光と医療との連携推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	2	2	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	来遊客も安心して訪れることができる救急医療体制の整備	休日当番医診療日数	R1	目標値	71	71	71	71	71	日	健康推進課
			76日	実績値	71	71	72	72			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	以上			
O402	来遊客の利用も考慮した医観連携の推進に資する健診機能の充実	健診センター数	R1	目標値	1	1	1	1	1	施設	健康推進課
			1施設	実績値	1	1	1	1			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	以上			
R3	O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。										
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。										
R4	O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。										
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。										
R5	O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。										
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。										
R6	O401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。										
	O402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。										

O5 災害医療体制の充実			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O501	災害拠点病院機能の維持	県医療救護計画における伊東市市民病院の位置づけ	R1 災害拠点病院	目標値	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院		健康推進課
				実績値	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R3	O501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。									
	R4	O501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。									
	R5	O501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。									
	R6	O501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。									

担当課	健康推進課	施策2－2の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2 健康づくり支援	指標数	20	20	20	20	20
目指す姿	市民がライフステージに合った、健康的でいきいきとした生活を送ることができる	達成数	4	4	6	8	0
		達成率	20.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%

1 成果指標（K P I）			指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	健康寿命（お達者度）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		H28	目標値	男性18.08 女性20.84	男性18.22 女性20.93	男性18.37 女性21.01	男性18.51 女性21.10	男性18.65 女性21.19	年	健康推 進課
		男性 17.48年 女性 20.30年	実績値	—	—	—	—	—		
		評 価	—	—	—	—	—	—		
成果指標 1	お達者年齢	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		※1	目標値	—	—	—	—	—	歳	健康推 進課
			実績値	男性79.0 女性84.2	男性78.8 女性84.2	男性78.9 女性83.6	R8.9公表			
			評 価	—	—	—	—	—		
目標値の 考え方	長く健康で自立した生活を送るため、静岡県の過去公表資料を基に推計した将来予測値を設定。今後、令和3年度以降の実績を基に、令和8年度以降の推計をしていく。									
成果指標 2	健康意識（いとう健康マイレージ参加者数）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	人	健康推 進課
		17,550人	実績値	16,032	16,701	17,014	17,377			
		評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の 考え方	健康づくりに取り組むきっかけとし、各種健康診断やがん検診等の受診促進と、健康教室や介護予防活動などへの参加を通じ運動習慣を持つ人の増加につなげることで、伊東市民の健康意識の向上と健康寿命の延伸を図る。									
R5年度	2（実績評価）・運動教室や健康相談などが再開できたことや医療機関への受診控えも少なくなり参加者の増加傾向が見られたが、健診受診者はコロナ禍以前までの状態には回復しなかったことにより、目標は未達成となった。 （次年度修正点）・健康マイレージ対象事業である検（健）診や健康講座の周知を図り、健康づくりに取り組む市民を増やす。									
R6年度	2（実績評価）・運動教室や健康相談などの参加者及び健診受診者もWEB予約などにより増加し、昨年度よりも300人以上増えたが、目標は未達成となった。 （次年度修正点）・健康マイレージ対象事業である検（健）診や健康講座、民間業者等の周知を図り、健康づくりに取り組む市民を増やす。									

※1 お達者度は令和5年度に公表された令和2年度実績をもって廃止となり、令和6年9月9日に公表された令和3年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなったため、成果指標を変更する。令和3年度以降の実績を集計し、令和8年度以降の目標値を推計していく。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	18	18	18	18	18	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
				達成数	4	4	6	8	0			
				達成率	22.2%	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%			
O1	ライフステージに応じた健康づくりの推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
					達成数	0	0	1	2	0		
					達成率	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%		
	主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	年代別の健康の特徴に合わせた事業の実施	健康教育利用者数	R1 7,378人	目標値	7,398	7,418	7,438	7,458	7,478	人	健康推進課	
				実績値	3,327	4,819	5,823	7,597				
O102	民間施設や運動指導の専門職等と連携した参加しやすい健康づくり事業の実施	運動初心者を対象にした教室※2の延べ参加者数	R1 527人	目標値	700	700	700	700	700	人	健康推進課	
				実績値	324	642	817	1,226				
年度評価	R	O101 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室は中止又は参加人数の制限等規模を縮小して実施している。特に不特定多数が参加するキャンペーン事業を中止したため利用者数が大幅に減少した。										
		O102 同上の理由により、参加者数が減少している。また2つの運動教室が高齢者福祉課へ移ったことも参加者数の減少の要因となっている。										
		O101 新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、事業所等での健康講座を再開し、各種健康教室への参加者が増加した。しかし、健康チェック事業や健康づくりキャンペーンなどの不特定多数が参加する事業は中止しているため、今後は感染症対策を行いながら再開していきたい。										
		O102 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた教室を再開したことにより、それぞれの教室参加者が増加した。教室実施時期を感染症が落ち着いてきた12月以降にしたことで、市民が参加しやすくなったことが要因と考えられる。引き続き、感染症対策を行いながら、市民に魅力ある教室内容を提供するように努める。										
		O101 健康チェック事業や各種健康教室などの開催回数が増えたため、利用者の増加につながった。しかしながら、目標値に達しなかったのは機会の提供が不足していると考えるので、充足を図る。										
		O102 運動習慣の促進を目的とした、新規健康講座の開催など各種教室の開催回数が増えたため。										
R	6	O101 健康機器を使った健康チェック事業や運動や食生活などの健康教室の増加により、目標値を達成できた。また、健康講座の依頼も増えており周知に力を入れる。										
		O102 市内スポーツジムを介して静岡県エアロビック連盟と連携した教室を実施したことや、壮年期が参加しやすいように夜間の運動教室を開催したことにより、参加者が増加した。今後は運動に関心がない人が参加しやすい企画を検討していく。										

※2 運動初心者を対象にした教室：運動を始めたいきっかけエクササイズ、男性限定の運動教室、ゆるトレレディース、特定保健指導運動支援等



O2 生活習慣病対策			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	達成率	0	0	0	0	0		
			達成率	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	生活習慣病に関する知識の普及啓発	特定保健指導実施率	R1	目標値	49.0	54.0	60.0	35.0	40.0	% 以上	健康推進課
			33.8%	実績値	30.5	26.3	18.6	16.6			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O202	禁煙・受動喫煙に関する情報提供	女性の喫煙率	R1	目標値	10.0	10.0	9.0	9.0	9.0	% 以下	健康推進課
			11.3%	実績値	10.6	11.2	11.2	11.1			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O203	歯周病等歯の健康に関する健康教育の実施	歯科教育への参加人数	R1	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	人 以上	健康推進課
			3,709	実績値	2,080	2,478	2,585	2,804			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
R3	O201 保健師等からの電話による利用勧奨や、医療機関等による利用勧奨などを実施しているが、勧奨通知だけでは利用に至らないケースが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。										
	O202 各種健康相談での個別禁煙指導や、職域健診時の禁煙に関する情報提供を行ったことにより、喫煙率は減少しているものの、目標達成には至らなかった。										
	O203 新型コロナウイルス感染症拡大による講座・教室等が中止になったことに伴う参加人数の減。国・県からの新型コロナウイルス関連情報の収集を積極的に行い、開催時期の変更など検討する。										
R4	O201 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。今後は、ICTの活用など対象者が気軽に利用できるサービスを提供できるように努めたい。										
	O202 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、特定健診受診率は増加した一方で、喫煙率は減とならなかった。今後も継続的に禁煙、受動喫煙の健康への影響について周知していく。										
	O203 令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の理由による歯科教室等の一部中止や、対象施設の園児、児童、生徒数の減少により、目標人数を大幅に下回った。社会的要因に影響を受けるが、継続的に周知方法も考慮して事業展開していく。										
R5	O201 特定保健指導対象者に対して面談指導等の機会を複数用意しているが、40、50歳代の利用率の低さに加えて、勧奨専門職員の確保が困難であった。引き続き、有資格者専門職員の安定的確保を図り、事業の充実に努めていく。										
	O202 健康相談を13回1,344人、健康教育を21回463人に対して実施した。喫煙が習慣化している人へのアプローチ方法に改善が求められている。各種好事例等を参考に対応を検討したい。										
	O203 対象施設での歯科教室等の実施回数が増加したことで参加人数も増加した。実施内容としては、対象となる施設と打ち合わせを行い、適切な支援を施設毎に提供している。児童生徒数の減少が大きく影響しているが、歯科教室等の開催方法について、様々な機会を捉えて実施していく。										
R6	O201 前年度比2ポイントの減となり目標未達成となった。特定保健指導の初回利用率の低下が要因となっているため、オンラインでの実施など利用者が取り組みやすい環境を整えるとともに特定保健指導の効果を周知し、実施率の増加を図り、生活習慣病を予防していく。										
	O202 喫煙率に変化はなく目標は達成できなかったが、健康相談を5回690人、健康教育を34回1,266人に対して実施し、喫煙が習慣化する前からの教育と受動喫煙防止に力を入れた。今後も受動喫煙防止を広めることから喫煙を防止していく。										
	O203 対象の園児や児童数が減少しているため目標値には達しないが、災害時対応の啓発を高齢者健康体操クラブの20か所532人に実施したため、昨年より実績値は上がった。また、別途出張相談を328人に対し行い、健康に関する正しい知識の普及啓発を実施している。										

O3 健全な食生活の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	ホームページ等ICTを活用した望ましい食生活の情報発信	ICT活用回数	－ ※3	目標値	4	4	5	5	6	回	健康推進課
				実績値	8	8	6	6			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	以上		
O302	伊東ならではの食材を生かした地域の食文化の継承、食育推進団体との連携強化	食育推進団体活動延べ人数	R1 2,804	目標値	1,000	2,500	2,600	2,700	2,800	人	健康推進課
				実績値	878	869	1,396	1,652			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	以上		
年度評価	R3	O301 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、栄養講話や料理教室が中止となったため、料理動画を撮影し普及啓発に努めた。									
		O302 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、食のイベント等が中止となったため。									
	R4	O301 ICT活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。									
		O302 登録団体は、昨年度より1団体少なく23団体であった。また、コロナ禍で食イベントの活動が中止となり、目標値は達成できなかった。引き続き食育推進団体と連携し、活動の増加を目指す。									
	R5	O301 ICT活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。									
		O302 登録団体は、昨年度より4団体少なく19団体であった。コロナ禍以降の食イベントが縮小していて、目標値は達成できなかったが、「産業フェアしずおか2023」を視察し、他地域の地産地消やPR方法等を学び、連携強化に努める。									
R6	O301 ICT活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。										
	O302 食育推進団体の登録が、昨年度より2団体少なく17団体に減っていることから目標値は達成できなかったが、「産業フェアしずおか2024」の視察や指導者向け研修会を2回実施し、連携強化に努めた。										

※3 令和3年度からの新規事業のため、基準値を一とした。



O6 感染症対策の推進			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	0	0	1	1	0		
				達成率	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O601	感染症に関する正しい知識の普及	講習会開催数	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	健康推進課
			4回	実績値	5	5	5	5			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	以上			
O602	予防接種の実施及び検診体制の整備	定期予防接種の接種率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	健康推進課
			97.4%	実績値	99.6	85.9	88.5	90.7			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	以上			
O603	感染症を予防する生活習慣づくり	肺がん・肺結核検診受診率	H30	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	%	健康推進課
			11.4%	実績値	10.3	10.4	R8.2公表	R9.2公表			
			評価	× 未達成	× 未達成			以上			
O604	災害時の感染症予防について関係医療機関との連携強化	災害時医療救護等対策連絡会の実施	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	健康推進課
			2回	実績値	0	1	2	2			
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成	以上			
R3	O601 保健委員の全員研修会で実施。後半の研修が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり10回実施予定が5回になった。										
	O602 接種時期の紹介などの接種勧奨を実施し、全体の接種率としては、100%に近づいているが、種類ごとにみると80%前後に留まっている予防接種もあり、目標達成には至らなかった。										
	O603 推計対象者数8,585人受診者2,741人 R2はコロナ禍で受診者が減ったが、R3は少しずつではあるが受診者は増加している。さらに感染対策を強化し、受診勧奨を図る。										
	O604 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止										
R4	O601 保健委員の研修会で感染予防の研修を実施。特に手洗いの重要性をPRするために手洗いチェッカーを用いて、保健委員が自ら「正しい手洗い方法」についての研修を行ったが未達成であった。今後、福祉施設等から講習会開催の依頼があった際には、健康の社会的決定要因に考慮しながら開催方法を検討していく。										
	O602 令和4年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（14.1%）が全体接種率の減少に影響している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。										
	O603 推計対象者数26,146人受診者2,713人 令和3年度及び令和4年度は少しずつではあるが受診者は増加している。さらに感染対策を強化し、受診勧奨を図る。なお、県の推計総数が令和3年度及び令和4年度では違っているので、目標値は今後の数値で修正する。										
	O604 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和3年度と同様に中止した。今後、新型コロナウイルスによる制限が緩和された中で、健康の社会的決定要因を考慮しながら開催していき、関係医療機関との連携強化に努める。										
R5	O601 目標値には届かなかったが、保健委員対象に感染症に関する支部研修を5回実施したほか、担当保健師からは日常的に事業を実施する中で感染症対策に関する周知啓発活動を行った。										
	O602 令和4年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（12.9%）が全体接種率の低下に影響している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。										
	O603 令和8年2月公表予定										
R6	O604 年2回開催し、目標に達した。今後は、連絡会を通じ感染症予防を鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。										
	O601 昨年度と同じく保健委員の研修会にて実施、コミセンまつり等で保健委員通信等でのPRも行い実施したが、目標値には届かなかったため、更に増回について検討する。										
R6	O602 令和4年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（20.9%）が全体接種率の低下に影響しているが、確実に接種率は向上している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。										
	O603 令和9年2月公表予定										
	O604 年2回開催し目標を達成した。今後は、感染症予防をテーマにした訓練内容について連絡会で検討するとともに、関係医療機関とも情報共有を図っていく。										



担当課	子育て支援課	施策2－3の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 出産・子育て支援の充実	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	子育て世代が安心して出産ができ、心身共に健やかに子育てができる	達成数	7	9	12	11	0
	子どもが心身ともに健やかに成長できる	達成率	43.8%	56.3%	75.0%	68.8%	0.0%

1 成果指標（KPI）		指標数		2	2	2	2	2		
		達成数		1	1	1	1	0		
		達成率		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
成果指標 1	子育てを楽しみと思う親の割合 （乳幼児健康診査アンケート）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 90.5%	目標値	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	%	子育て 支援課
			実績値	93.9	94.2	94.3	94.2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
目標値 の 考え方	子育てを楽しみと思う親の割合のうち、10か月児健診アンケートのみでの直近3年間が92%前後で推移していることから、10か月児、1歳6か月児、3歳児健診の3つのアンケートで集計した場合の基準値90.5%を踏まえ、各年度1%程度上昇することを見込んで目標値を95%とした。									
成果指標 2	「出産・子育て支援の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2 62.0%	目標値	63.5	65.0	66.5	68.0	70.0	%	子育て 支援課
			実績値	55.1	53.0	57.1	58.5			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
目標値 の 考え方	基準値である令和2年度の結果をもとに、各年度1.5%程度上昇することを見込んで目標値を70%とした。									
R3 年度	1（実績評価）・妊娠期からの切れ目ない充実したサポート体制により、目標を達成できた。  （次年度修正点）・産前、産後サポート等新たな事業も追加して展開していくため、更なる充実を図る。									
	2（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大による各種事業の開催中止や規模縮小の影響等により、市民満足度の目標値を達成できなかった。  （次年度修正点）・新型コロナウイルス感染症対策を行い、各種事業を通常通り開催することなどにより、出産・子育て支援の充実を図る。									
R4 年度	1（実績評価）・妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実により、子育て期に子育てを楽しみと思う親の割合の目標を達成することができた。  （次年度修正点）・伴走型支援の充実や産後ケア、産前産後サポートの新規事業の展開により更なる充実を図る。									
	2（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大による各種事業の開催中止や規模縮小の影響等により、市民満足度の目標値を達成できなかった。  （次年度修正点）・出産・子育て支援に関する情報を市民に対して適切かつ迅速に発信し、各種事業を円滑に実施することにより、出産・子育て支援の充実を図る。									
R5 年度	1（実績評価）・妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実により、子育て期に子育てを楽しみと思う親の割合の目標値を達成することができた。  （次年度修正点）・現在、実施している事業の見直しにより、子育て世帯が子育てを楽しみと感じられるよう、支援の充実を図る。									
	2（実績評価）・目標値を達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症が第5類になり、各種事業を通常通り開催することができたことにより、満足度は過去3年間で最も高い数値となった。  （次年度修正点）・出産・子育て支援に関する情報について、各種媒体により市民への発信力を高め、各種事業を円滑に実施することにより、出産・子育て支援の充実を図り、市民満足度を高めていきたい。									
R6 年度	1（実績評価）・伴走型相談支援体制の充実の成果もあり、乳幼児期の子育てを楽しみと思う親の割合が増え、目標値を達成することができた。  （次年度修正点）・引き続き、妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実に努めていく。									
	2（実績評価）・目標値を達成できなかったが、出産・子育て支援に関する各種事業の開催や各種媒体による情報発信により、市民満足度は年々向上してきている。  （次年度修正点）・引き続き、出産・子育て支援に関する各種事業を円滑に実施し、各種媒体による市民への発信力を高め、出産・子育て支援の充実を図り、市民満足度を高めていきたい。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	14	14	14	14	14	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	6	8	11	10	0		
				達成率	42.9%	57.1%	78.6%	71.4%	0.0%		
O1 子育て世帯の経済的支援の推進			達成状況	指標数	5	5	5	5	5		
				達成数	2	2	3	3	0		
				達成率	40.0%	40.0%	60.0%	60.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 誕生祝金の贈呈	出生数（暦年）	R2	目標値	230	235	240	245	250	件	子育て支援課	
		242件	実績値	208	215	212	171				
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O102 子育て支援医療費助成	制度周知の回数	R2	目標値	2	3	3	3	3	回	子育て支援課	
		1回	実績値	2	3	3	3				
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O103 妊産婦健診助成	妊婦健診助成件数※5	R1	目標値	260	265	—	—	—	件	子育て支援課	
		271件	実績値	235	240	—	—	—			
		評価	× 未達成	× 未達成	—	—	—				
	産婦健診助成件数※5	R1	目標値	250	255	—	—	—	件	子育て支援課	
		257件	実績値	223	205	—	—	—			
		評価	× 未達成	× 未達成	—	—	—				
O104 不妊治療費助成	延べ支給人数	R1	目標値	85	85	85	85	85	人	子育て支援課	
		81人	実績値	88	106	56	44				
		評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成					
O105 妊産婦健診助成	妊婦健診助成率※5	R4	目標値	—	—	100	100	100	%	子育て支援課	
		100%	実績値	—	—	100	100				
		評価	—	—	○ 達成	○ 達成					
	産婦健診助成率※5	R4	目標値	—	—	100	100	100	%	子育て支援課	
		100%	実績値	—	—	100	100				
		評価	—	—	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	O101 出生数の減少により目標を達成できなかった。出産・子育て支援制度を充実させ、子育て世代が安心して出産・子育てできる環境を整えていきたい。									
		O102 2回の周知完了により、目標を達成できた。									
		O103 妊婦健診の助成は100%であるが産婦健診が100%になっていないため周知や受診勧奨等を充実していきたい。									
		O104 充分な周知により、不妊治療費助成利用の目標値を達成できた。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。									
	R4	O101 目標値は達成できなかったが出生数は昨年度より増加した。今後も出産・子育て支援制度を充実させ、子育て世代が安心して出産・子育てできる環境を整えていきたい。									
		O102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。									
		O103 妊婦健診及び産婦健診の助成率は100%であったが、目標は達成できなかった。出生数は令和元年と比較すると減少傾向であり、今後も増加する見込みがないため、管理指標を見直し、管理指標O105を新設した。									
		O104 新制度の開始により、旧制度適応の申請者が増え全体として申請者数が増加した。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。									
	O105 引き続き、医療機関及び妊産婦に周知するとともに、新たに妊娠8ヶ月アンケートを利用した周知方法を検討していく。										
	R5	O101 出生数の減少により目標を達成できなかった。出産・子育て支援制度の充実、制度の周知に努めて、子育て世代の出産・子育てを支援していきたい。									
		O102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。									
		O104 令和4年度から保険適用になり1年が経過し、旧制度の申請者は0で申請者数としては減少した。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。									
		O105 妊娠届を提出した全ての妊産婦に対し、健診の助成ができている。引き続き、あらゆる方法で周知し漏れのないようにしていく。									
	R6	O101 出生数の減少により目標を達成できなかった。出産・子育て支援制度の充実、制度の周知に努めて、子育て世代の出産・子育てを支援していきたい。									
		O102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。									
O104 申請者数としては減少している。申請を希望する方への周知や相談体制が漏れのないように努めていきたい。											
O105 妊娠届を提出した全ての妊産婦に対し、健診の助成ができている。引き続き、あらゆる方法で周知し漏れのないようにしていく。											

※5 出生数が減少傾向にあるため、管理指標O103を見直し、管理指標O105を新設した。

02	妊娠・出産・子育ての切れ目ない 支援の推進		達成状況	指標数	4	4	4	4	4	単位	担当課	
				達成数	2	3	4	4	0			
				達成率	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7			
0201	総合的相談窓口の設置 及び産前・産後の専門 的支援の充実化	子育て世代包括支 援センター、妊 娠・出産包括支援 事業の利用者数	R1  1,778人	目標値	1,820	1,840	1,860	1,880	1,900	人	子育て 支援課	
				実績値	2,024	2,324	2,104	2,153				
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				以上
0202	発達面で支援が必要 な子どもとその保護者等 に対する療育環境及び 相談支援	さくらんぼ教室、 ポニーの教室、リ トルキッズの開催 回数	R1  36回	目標値	36	36	36	36	36	回	子育て 支援課	
				実績値	20	36	36	36				
				評 価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				以上
0203	保護者のネットワー クづくりの推進	母親交流事業、海 カフェ、多胎児ピ アサポート事業の 開催回数	R1  48回	目標値	50	52	52	52	52	回	子育て 支援課	
				実績値	28	51	93	114				
				評 価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				以上
0204	子育て支援に関する情 報発信の充実	メルマガ、アプリ 等による情報発信 回数	R2  7回	目標値	12	12	12	12	12	回	子育て 支援課	
				実績値	16	12	13	12				
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				以上
年 度 評 価	R3	0201 各事業の充実により目標を達成できた。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。										
		0202 新型コロナウイルス感染症拡大による開催中止の影響等により目標を達成できなかった。感染対策に配慮しながら実施できるよう努めていきたい。										
		0203 新型コロナウイルス感染症拡大による開催中止の影響等により目標を達成できなかった。感染対策に配慮しながら実施できるよう努めていきたい。										
		0204 メルマガやアプリを利用して、定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的 to 実施する。										
	R4	0201 各事業の充実により継続して目標を達成できている。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。										
		0202 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら事業を通常通り再開したため、目標を達成することができた。										
		0203 事業の拡充により、目標を概ね達成できた。今後も継続して、保護者同士のネットワークづくりを支援していきたい。										
		0204 メルマガを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的 to 実施する。										
	R5	0201 令和5年度より、伴走型相談支援の体制の整備を行い、更なる充実が図られ目標を達成できた。今後も相談支援体制の充実 to 努めていきたい。										
		0202 新型コロナウイルス感染症が第5類になり、通常通り開催することができたため、目標を達成することができた。										
		0203 事業の拡充により、目標を概ね達成できた。今後も継続して、保護者同士のネットワークづくりを支援していきたい。										
		0204 メルマガや子育て支援アプリを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的 to 実施する。										
	R6	0201 伴走型相談支援体制が定着し、目標を達成することができた。今後も相談支援体制の充実 to 努めていきたい。										
		0202 対象者のニーズにあった教室を開催することができ、目標を達成できた。										
		0203 個々の特性に合った事業の展開により、目標を達成することができた。対象者のニーズに合った事業を展開し、保護者のネット ワークづくりを促進していきたい。										
		0204 メルマガや子育て支援アプリを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的 to 実施する。										

O3 ひとり親家庭の自立促進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数		2	1	2	2	0		
			達成率		100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	自立支援教育訓練及び職業訓練促進給付等の就業支援	訓練修了者割合＝自立支援教育訓練及び高等職業訓練促進給付費に係る支給者数／（支給者数＋受給資格喪失者数）	R1  100%	目標値	100	100	100	100	100	%	子育て支援課
				実績値	100	100	100	100			
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O302	子育てや生活に係る相談支援体制の強化	相談者における就職割合＝就職者数／相談実人数（年度末時点）	R1  55%	目標値	53.0	54.0	55.0	56.0	57.0	%	子育て支援課
				実績値	66.6	50.0	85.7	71.4			
				評 価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成	以上		
年度評価	R3	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。									
		O302 就職者数は目標値を達成しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で求人が少なかったこともあり、相談があったもののより良い条件の就職に結びつけることができず現状維持の案件があった。									
	R4	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。									
		O302 新型コロナウイルス感染症の影響等により求人が少なかったこともあり、良い条件の就職に結びつけることができず目標未達成となった。今後はハローワークとの連携を更に密にするとともに、相談者に対しきめ細かなサポートを行い、自立に向けた支援をしていく。									
	R5	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。									
		O302 コロナ禍が明け、求人活動の活発化と出張ハローワーク等のイベント効果もあり、目標値を達成することができた。今後もハローワークとの連携を密にするとともに、相談者へのきめ細かなサポートを継続していく。									
R6	O301 申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。										
	O302 ハローワークとの連携を継続したことで、目標値を達成することができた。コロナ禍が明けた直後の求人活動の活発化は落ち着きを見せているが、引き続き相談者へのきめ細かなサポートを継続していく。										

O4 子どもが安心して暮らせる環境づくりの推進				達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数		0	2	2	1	0		
				達成率		0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	地域での子どもの見守り活動を行うとともに子どもの居場所づくりの推進	児童館年間利用者割合＝利用者数実績／住民基本台帳人口（3月末時点）	R1 19.9%	目標値	17.0	20.5	22.0	23.5	25.0	%	子育て支援課	
				実績値	12.6	11.1	14.3	16.9				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成	以上			
		子ども食堂実施箇所数	R2 6箇所	目標値	6	7	8	9	10	箇所	子育て支援課	
				実績値	5	7	9	10				
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	以上			
O402	児童虐待の早期発見及び早期対応並びに未然防止のための関係機関との連携強化	個別ケース検討会議の開催回数 30回	R1	目標値	30	32	34	36	38	回	子育て支援課	
			実績値	20	37	34	31					
			評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成	以上				
R3	O401 新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により目標を達成できなかった。感染症対策を行い、児童館の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。											
	O402 個別ケース検討会議の回数は目標値を下回った。R4からは児童相談所の大幅な人員増により、通告前ケースであっても児相職員がケース会議に参加できるようになったので、今後は積極的にケース会議を開催し、専門家を招致することで、児童虐待の早期解決を図りたい。											
R4	O401 新型コロナウイルス感染症による影響が尾を引き、目標を一部達成できなかった。生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、児童館の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。											
	O402 積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。児童相談所の体制強化により、令和4年度から末通告ケースについても児相職員がケース会議に参加できるようになったことも積極開催の一助となった。											
R5	O401 新型コロナウイルス感染症が第5類になり、コロナ禍以前の状況に戻つつあるが、目標値を一部達成できなかった。コロナ禍による生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、子どもの居場所づくりの推進に取り組みたい。											
	O402 積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。要保護児童対策地域協議会実務者会議終了後にケース会議を開催する等、関係機関が参集しやすい工夫を講じた。											
R6	O401 児童館利用者数については、目標未達成だが、過去4年で最多の利用者数であった。子ども食堂の実施箇所数については、毎年増加傾向にあり、目標を達成している。利用者の声を聴き、引き続き子どもの居場所づくりの推進に取り組みたい。											
	O402 相談受件数、通告受件数及び要保護児童対策地域協議会管理ケース件数が前年度比約3割減少する等の影響により目標を達成できなかった。令和5年度から事業化している専門家を招致したケースカンファレンスの場も活用して積極的な個別ケース検討に努めたい。											





2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	11	11	11	11	11	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
				達成数	8	8	8	9	0			
				達成率	72.7%	72.7%	72.7%	81.8%	0.0%			
O1 待機児童対策の推進				達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
					達成数	1	1	1	2	0		
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101	保育環境の整備	施設の整備数	R2	目標値	0	0	0	0	1	園	幼児教育課	
			O園	実績値	1	0	0	0				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				以上
O102	幼稚園預かり保育の運営	1園当たりの預かり保育利用者数	R1	目標値	12	13	12	10	10	人	幼児教育課	
			11.2人	実績値	9.3	8.7	11.9	11.5				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成				以上
R3	O101	令和3年度に、民営保育所1園を認定こども園として開所した。また、公立園においては、子ども・子育て会議の中で再編に向けて協議し、環境整備の準備を進めた。今後の整備計画を見据える上で、令和7年度開所を目指すことからR4以降の目標値を変更した。										
	O102	新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止措置等による利用者を制限したことが影響し、目標値を下回った。令和4年度は預かり保育内容を充実するなどして利用者増に努める。										
R4	O101	待機児童対策は解消に向かう中で、受け皿確保としての施設整備は予定していないが、公立保育園での認定こども園設置に向けた準備として主に候補地の選定に係る協議を行った。また、耐震性能が劣る園舎の安全対策についての検討を行った。										
	O102	新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止措置等により利用者を制限したことが影響し、目標値を下回った。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、預かり保育内容を充実するなどして利用者増に努める。										
R5	O101	公立こども園設置に向け、再編対象となる園と設置候補地の検討を行い、設置諮問機関である幼児施設連絡調整協議会を令和6年度に組織するための準備を進めた。										
	O102	少子化が進む中で毎年園児が減少し、目標には届かなかった。来年度も園児数が減少するが、預かり保育内容の充実と保護者への周知を行っていくことで利用者増に努め、目標値の達成を目指していく。										
R6	O101	公立こども園設置に向け、再編対象となる園と設置候補地の検討を行い、設置諮問機関である幼児施設連絡調整協議会を開催したが、市長判断により設置は継続審議となった。										
	O102	預かり保育内容の充実と保護者への周知を行った結果、目標値を達成した。今後も、預かり保育内容の充実と保護者への周知を行っていくことで利用者増に努め、目標値の達成を目指していく。										

O2 多様な保育事業の推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	達成率	2	3	2	2	0		
					66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201 延長保育	実施園数	R2	目標値	9	9	10	13	13		園	幼児教育課
		9園	実績値	9	9	9	9				
		評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成					
O202 一時預かり	実施園数	R2	目標値	5	3	3	3	3		園	幼児教育課
		5園	実績値	3	3	3	3				
		評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O203 病児保育	実施園数	R2	目標値	7	8	8	8	8		園	幼児教育課
		7園	実績値	8	8	8	8				
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	O201 就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園9園（小規模保育所含む）で実施し、保育の確保に努めた。									
		O202 保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園1園、民間保育園2園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要が減少傾向にあることから、R4以降の目標値を変更した。									
		O203 児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、8園（公立2園、民間6園）で病児保育（体調不良児型）を実施した。緊急的な対応を図った保育需要の高まりから、当初の見込みを上回るため、R4以降の目標値を変更した。									
	R4	O201 就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園9園（小規模保育所含む）で実施し、保育の確保に努めた。									
		O202 保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園1園、民間保育園2園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要は減少傾向とみられる。									
		O203 児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、8園（公立2園、民間6園）で病児保育（体調不良児型）を実施し、保護者が安心して子育てができる環境整備に努めた。									
	R5	O201 就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園9園（小規模保育所含む）での実施に留まっている。									
		O202 保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園1園、民間保育園2園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要は減少傾向とみられる。									
		O203 児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、8園（公立2園、民間6園）で病児保育（体調不良児型）を実施し、保護者が安心して子育てができる環境整備に努めた。									
R6	O201 就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園9園（小規模保育所含む）での実施に留まっている。										
	O202 保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園1園、民間保育園2園で実施した。										
	O203 児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、8園（公立2園、民間6園）で病児保育（体調不良児型）を実施し、保護者が安心して子育てができる環境整備に努めた。										



O4 情報提供、相談体制の充実			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	ニーズに対応したサービス内容の情報提供と相談体制の強化	利用者支援事業、子育て支援センター実施か所数	R2  8か所	目標値	8	8	8	8	8	か所	幼児教育課
				実績値	8	8	8	8			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
R3	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センター（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。										
R4	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センター（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。										
R5	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センター（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。										
R6	O401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内7か所の子育て支援センター（独立型2、保育園併設型5）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。										

05 幼稚園及び保育園の再配置計画の策定			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	幼稚園及び保育園の認定こども園を見据えた再編	認定こども園整備数	R2	目標値	1	0	0	0	0	園	幼児教育課
			0園	実績値	1	0	0	0			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0501 令和3年度に、民営保育所1園を認定こども園として開所した。公立園は、子ども・子育て会議にて審議し、再編計画の策定に向けて取り組んだ。										
R4	0501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和3年度に策定した再編計画に基づき、幼保の職員で構成するワーキンググループを立ち上げ、会議を開催した。										
R5	0501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和3年度に策定した再編計画に基づき、幼保の職員で構成するワーキンググループによる会議の開催やこども園の視察を実施した。										
R6	0501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和3年度に策定した再編方針に基づき、個別計画の策定に向けて準備した。										



担当課		施策2－5の全指標達成率					
政策目標	2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	5 高齢者福祉の充実	指標数	21	21	21	21	21
目指す姿	高齢者が地域の中でいきいきと生活できる	達成数	5	6	5	5	0
	地域において住民相互で支え合い暮らすことができる	達成率	23.8%	28.6%	23.8%	23.8%	0.0%
1 成果指標（KPI）		指標数	3	3	3	3	3
		達成数	0	0	0	0	0
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
			R3	R4	R5	R6	R7
成果指標 1	元気な高齢者の割合＜4月1日時点＞ （介護保険第1号被保険者のうち、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合）	基準値					
		R2	目標値	84.0	84.0	84.0	84.0
		84.1%	実績値	83.1	82.8	82.3	82.3
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成
目標値の考え方	本市は、令和3年度が高齢者人口のピークと推計され、以降は高齢者の中での高齢化が進むため、一般的には要介護認定を受ける割合が増えるものであるが、介護予防の取り組みを一層推進することによりその割合を維持させる。						
成果指標 2	健康寿命（お達者度）	基準値		R3	R4	R5	R6
							R7
		H28	目標値	男性18.08 女性20.84	男性18.22 女性20.93	男性18.37 女性21.01	男性18.51 女性21.10
		男性17.48年 女性20.30年	実績値	—	—	—	—
			評価	—	—	—	—
成果指標 2	お達者年齢	基準値		R3	R4	R5	R6
							R7
			目標値	—	—	—	—
		※6	実績値	男性79.0 女性84.2	男性78.8 女性84.2	男性78.9 女性83.6	R8.9公表
			評価	—	—	—	—
目標値の考え方	長く健康で自立した生活を送るため、静岡県過去の公表資料を基に推計した将来予測値を設定。今後、令和3年度以降の実績を基に、令和8年度以降の推計をしていく。						
成果指標 3	生活支援サポーターの養成者数 （目標値は5年間累計）	基準値		R3	R4	R5	R6
		R1	目標値	40	40	40	40
		45人（単年）	実績値	16	29	23	22
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成
目標値の考え方	高齢者の日常生活を支援するボランティアである「生活支援サポーター」を養成し、地域の介護基盤の向上を図る。生活支援サポーターは既に226人が養成されているが、高齢者数の増加に対応するために毎年40人のサポーターを養成し、地域の支え合い活動及び介護予防を支援する。						
R3年度	1（実績評価） ・ 団塊の世代の高齢化と新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出控えや介護予防事業等の一時休止に伴い、目標値より0.9ポイントの減少となった。 （次年度修正点） ・ 新型コロナウイルス感染症に伴う介護予防事業中止は令和4年度も見込まれるため、チラシやケーブルテレビを活用した運動機会の提供を図る等の工夫をし、コロナ禍においても平常時に近い生活を送れるよう努める。						
	2（実績評価） （次年度修正点）						
	3（実績評価） ・ 年度当初は養成講座を3回実施する予定だったが、3回のうち2回がまん延防止等重点措置期間に予定していたことから中止したため、目標未達成となった。 （次年度修正点） ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮した上で、養成講座を実施できるよう努める。						
R4年度	1（実績評価） ・ 団塊の世代の高齢化に加え、コロナ禍における外出控えや交流機会の不足からくる心身の状態悪化から、目標値を下回ることとなった。 （次年度修正点） ・ 感染状況を考慮しながら、積極的に介護予防事業を実施し、フレイル予防・重症化防止を図る。						
	2（実績評価） （次年度修正点）						
	3（実績評価） ・ コロナ禍の影響などから、目標値を下回ってしまったが、予定していた講座3回を実施することができた。 （次年度修正点） ・ 令和5年度からは、これまで養成してきたボランティアのフォローアップを行いつつ、地域での「助け合い活動」へと繋げていくために必要な、核となるグループ作りの勉強会を開催していく。						
R5年度	1（実績評価） ・ 団塊の世代の高齢化に加え、コロナ禍における外出控えや交流機会の不足からくる心身の状態悪化から、目標値を下回ることとなった。 （次年度修正点） ・ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、外出や交流の機会等が増えていくことから、積極的に介護予防事業を実施し、フレイル予防・重症化防止を図る。						
	2（実績評価） （次年度修正点） ・						
	3（実績評価） ・ 養成数の目標値を下回ったが、これまで養成したボランティアのフォローアップに力を入れ、地域での「助け合い活動」に繋がる周知が行えた。 （次年度修正点） ・ 生活支援サポーターの養成講座を圏域単位ではなく、自治会、町内会等の小さい単位で実施し、地域での「助け合い活動」へスムーズに移行できるよう体制を整えていく。						
R6年度	1（実績評価） ・ 介護予防事業が年間を通じて行えるようになったことにより、外出や交流の機会が戻ったため、前年度と同じポイントであった。 （次年度修正点） ・ 引き続き介護予防事業を積極的に実施し、フレイル予防・重症化防止を図る。						
	2（実績評価） （次年度修正点） ・						
	3（実績評価） ・ 年度の養成数は目標値を下回ったが、登録者数は306人にのぼっている。より身近な地域での助け合い活動につながるよう、フォローアップ研修や2層協議体（地域の課題解決や活性化のために話し合う場）への参加も働きかけている。 （次年度修正点） ・ 生活支援サポーターの利用について広く市民に周知し、より活発な支援活動が行えるように取り組む。また地域づくりの担い手としてもボランティアが活躍できるよう、関係者のネットワークや体制づくりに努めていく。						

※6 お達者度は令和5年度に公表された令和2年度実績をもって廃止となり、令和6年9月9日に公表された令和3年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなったため、成果指標を変更する。令和3年度以降の実績を集計し、令和8年度以降の目標値を推計していく。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	18	18	18	18	18	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
				達成数	5	6	5	5	0					
				達成率	27.8%	33.3%	27.8%	27.8%	0.0%					
O1	健康で生きがいのある暮らしの支援	達成状況		指標数	3	3	3	3	3					
				達成数	1	1	0	0	0					
				達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%					
				主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
				O101	健康福祉センター等の活用	健康福祉センターの利用者数	R1 44,984人	目標値 28,000	33,000	39,000	46,000	55,000	人	高齢者福祉課
				実績値	83,107	38,745	13,347	20,782		以上				
				評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成						
O102	居場所の開催	居場所設置数	R1 46か所	目標値	60	70	80	90	100					
				実績値	54	54	51	56						
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成						
				O103	高齢者の社会参加の支援	介護予防ボランティアの登録者数	— ※7	目標値 40	50	60	70	80	人	高齢者福祉課
								実績値	34	45	36	33		以上
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成						
R3	O101 実績値上、目標値を超えているが、健康福祉センターは新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場であったことから、利用者の大半はワクチン接種者であり、実質的には評価の対象とならない。													
	O102 各圏域の生活支援コーディネーターが地域へ出向き、立上げ支援を行っていたが、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、コーディネーターの活動に制限が出たことから、目標には到達しなかった。													
	O103 ボランティア養成研修は当初52人の申込みがあり、目標値を上回っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、急きょ日程を変更したことで、研修受講者数が目標を下回った。今後は研修日程等を検討していく。													
R4	O101 目標値を上回ったが、その内容は、昨年度同様新型コロナワクチン接種会場としての利用者数であることから、評価の対象とならないと考える。													
	O102 目標値を下回ったものの、コロナ禍にも関わらず減少とはならなかった。令和5年度も引き続き、各圏域の生活支援コーディネーターと包括支援センターと協働し、地域での立上げ支援を行っていく。													
	O103 目標値を下回ったものの、コロナ禍でもボランティア活動に関心が高いことが伺えたことから、引き続き、生活支援サポーターと協働し、地域での「助け合い活動」ボランティアとしての活動を視野に入れた取組を周知していく。													
R5	O101 目標値を下回ったが、新型コロナワクチン接種会場として通年予約をし、一般利用が制限されていたため、評価の対象とならないと考える。													
	O102 居場所代表者の高齢化により、継続ができず終了となる居場所があった。各圏域の生活支援コーディネーターと地域包括支援センターと協働し継続支援を行っていく。													
	O103 目標値に達していないものの、ボランティア活動を自身の介護予防と捉え、楽しみながら参加される方が多かった。													
R6	O101 年間を通じ利用制限はなかったが、告知等が行き届いておらず、目標値を下回ってしまった。今後、広報等を通じ、施設利用の告知を行い利用者の増加に努めていきたい。													
	O102 生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが協働し、居場所が必要と思われる地域に直接出向き、立上げ支援等を行った結果、箇所数の増加となった。課題として代表者の高齢化により、居場所の継続が困難となる箇所があるため、継続に向けた事業の見直しを行う必要がある。													
	O103 目標値を下回ったが、ボランティア活動に参加されている方の意識が、自身の介護予防のためだけでなく、楽しみながら続けたいとの思いが聞かれるようになった。引き続き、ボランティア活動の周知を行っていく。													

※7 令和3年度からの新たな事業であるため、基準値は一とした。



O4 高齢者の権利擁護			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	1	2	2	2	2	0		
			達成率	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	地域包括支援センターを中心とした多職種協働による取組	司法書士を招いた合同相談会における相談件数	R1 14件	目標値	14	16	18	20	22	件 以上	高齢者福祉課
				実績値	0	9	2	0			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O402 成年後見制度の活用	成年後見人等への報酬支払助成件数	R1 1件		目標値	3	4	5	6	7	件 以上	高齢者福祉課
				実績値	9	8	16	12			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O403 高齢者虐待の防止	伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会等への参加	R1 年1回		目標値	1	1	1	1	1	回 以上	高齢者福祉課
				実績値	0	1	1	1			
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
R3	O401 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、相談会をとりやめ、各地域包括支援センターや認知症疾患医療センターの紹介パネルをショッピングセンターに展示した。今後は、一部リモートで相談を行うハイブリッド方式による相談会の実施を検討している。										
	O402 経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も比例して増加している。										
	O403 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催が中止となり、各機関による虐待対応実績の報告資料を共有するのみとなった。今後は事例検討を行うように、コロナ禍における開催方法を検討していく。										
R4	O401 個人情報保護及び新型コロナウイルス感染予防のため、個別相談に適した環境を整えたが、立ち寄って相談するという方は少なく目標を下回った。今後、相談会の周知方法の改善やミニ講話の実施など認知度の向上に向けた取組を行っていく。										
	O402 経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。										
	O403 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会を書面にて開催した。各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。										
R5	O401 終活講座や対島地域包括支援センターが主体として実施する「いきいき健康フェスタ」等において、司法書士と協働で相談対応をする機会が増えたことに伴い、合同相談会における相談件数が目標値を下回った。										
	O402 高齢化率の増加に比例し、経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。										
	O403 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会を書面にて開催した。各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。										
R6	O401 合同相談会については、司法書士の派遣を依頼している公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート静岡支部との調整が合わなかったため、他の専門職を招いて開催したが、終活講座や対島地域包括支援センターが主体として実施する「いきいき健康フェスタ」等において、司法書士と協働で相談対応をする機会を創出した。引き続き、司法書士との連携を図るとともに、協働で高齢者の権利擁護に係る相談を受ける機会を増やしていく。										
	O402 高齢化率の増加に比例し、経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。										
	O403 書面にて開催された、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会に各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。										



O5 地域包括ケアシステムの構築			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	2	3	2	2	0		
				達成率	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O501	地域ケア会議による課題解決	地域包括支援センターを中心に運営する地域ケア個別会議の開催数	R1 15回	目標値	11	13	15	17	19	回 以上	高齢者福祉課
				実績値	27	27	25	34			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O502	在宅医療・介護連携の推進	多職種連携研修会の開催数	R1 1回	目標値	2	2	2	2	2	回 以上	高齢者福祉課
				実績値	1	2	2	2			
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O503	認知症サポーターの養成	認知症サポーター養成講座受講者数	R1 598人	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000	人 以上	高齢者福祉課
				実績値	408	469	482	325			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O504	企業及び警察の協力並びにICT機器を活用した認知症高齢者の見守り	伊東市高齢者あんしん見守りネットワーク事業登録者総数	R3.1月末 28件	目標値	35	40	45	50	55	件 以上	高齢者福祉課
			実績値	39	47	42	49				
			評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
R3	O501 各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び関係者のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議を行ったことにより、見込みよりも開催数が多くなった。										
	O502 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、目標どおり実施することはできなかった。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、Webで開催する等開催方法を検討して実施できるようにする。										
	O503 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、予定どおりに実施することができなかった。令和4年度は、チームオレンジの結成に向けて受講回数は増えることが見込まれる。										
	O504 高齢者人口の増加に伴い、認知症高齢者や行方不明者となる可能性が高い対象者が増加しているため、登録件数も増加している。										
R4	O501 各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び支援者間のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議及び自立支援型地域ケア会議を開催したことにより、目標値を上回った。										
	O502 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ予定どおり実施できた。令和5年度以降も目標値を目指し、内容も充実していきたい。										
	O503 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の参加人数や開催回数を制限していることもあり、目標値を下回ったが、令和3年度に比べ、開催回数や人数が増加していることから、感染状況を考慮しながら、積極的に事業を推進していく。										
	O504 目標を達成することができたので、引き続き事業の周知を図っていく。										
R5	O501 各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び関係者のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議を行ったことにより、見込みよりも開催数が多くなった。										
	O502 コロナ禍であったが予定通り研修会を実施し、目標値を達成することが出来た。引き続き在宅医療・介護連携の推進に向けた多職種間の連携強化の取組を行っていく。										
	O503 コロナ禍により目標値は下回ったが、開催回数を増やすことにより受講者数は年々増加しているので、目標達成に向けて講座の告知等を積極的に行い、目標達成を目指すものとする。										
	O504 施設入所等で登録を取り下げた人が見込みよりも多く、目標値を下回った。										
R6	O501 各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び関係者のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議を行ったことにより、見込みよりも開催数が多くなった。										
	O502 予定通り研修会を実施し、目標値を達成することができた。引き続き在宅医療・介護連携の推進に向けた多職種間の連携強化の取組を行っていく。										
	O503 これまで依頼を受けて講座を開催していたため、コロナ禍を機に依頼が減少したことで目標値を下回っている。今後は、依頼を受けて開催するだけでなく定期開催をすることで個人で講座を希望する人にも受講できるような体制とし目標達成を目指していく。										
	O504 施設入所や死亡等で対象者でなくなった人が見込みよりも多く、目標値をわずかに下回った。										

O6 介護保険サービスの向上			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	1	1	0			
			達成率	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O601	介護給付費適正化の推進	市の指定事業所への 実地指導回数	R1 23回	目標値	32	32	32	32	32	回 以上	高齢者福祉課
				実績値	6	22	36	24			
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	× 未達成			
O602	介護保険相談員の配置	介護保険事業所訪問回数	— ※8	目標値	24	24	24	24	24	件 以上	高齢者福祉課
				実績値	0	0	18	24			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成			
R3	O601 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。										
	O602 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、事業所への訪問ができなかった。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。										
R4	O601 新型コロナウイルス感染症の影響により、実地指導が難しい状況ではあったが、令和4年度も目標値を下回った。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類移行となるため、実地指導を確実に実施していきたい。										
	O602 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所へ訪問しての相談・支援ができなかった。令和5年度は、訪問時期など、受け入れ側に負担とならない工夫をして、実施していきたい。										
R5	O601 新型コロナウイルス感染症の5類移行後、運営指導を月2～4回行い、3年以上実地指導を実施していない事業所はなくなった。										
	O602 新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、令和5年6月から訪問を開始した。事業所利用者からの聞き取り内容を、事業所責任者へ直接伝え、業務改善につながった。										
R6	O601 運営指導の事前提出資料の様式変更に伴い、令和6年8月から月2～4件の頻度で運営指導を実施したため、目標値を下回った。令和7年度以降は、月2～4件の頻度で実施していき、目標達成を目指す。										
	O602 介護保険相談員による事業所への訪問は、目標どおり実施できた。利用者の声を事業所へ伝えることで、運営の改善を図ることができた。										

O7 介護人材の育成			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O701	基準緩和型サービス研修による人材の養成	基準緩和型サービス研修の育成数	R1	目標値	50	50	50	30	30	人	高齢者福祉課
			48人	実績値	25	27	30	20			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上		
O702	養成した人材を必要とする介護事業所とのマッチング	上記受講者の内の事業所採用者数	R1	目標値	10	10	10	10	10	人	高齢者福祉課
			9人	実績値	7	6	1	6			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上		
R3	O701	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、受講者数を限定し、席の間隔を空けて実施したため、目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。									
	O702	基準緩和型サービス研修による人材の養成の実績値（人数）の中で、介護事業所とのマッチングを行うため、目標には到達しなかった。									
R4	O701	新型コロナウイルス感染予防のため、研修の人数の定員を制限していることから、目標値を下回った。受講希望の多い研修であるので、感染予防に配慮しつつ、実施方法等の見直しを図っていきたい。									
	O702	養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されたため、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。									
R5	O701	研修の人数の定員を制限しなかったが、周知方法が不十分だったため、目標値を下回った。受講希望の多い研修であるので、感染予防に配慮しつつ、実施方法等の見直しを図っていきたい。									
	O702	養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されたため、引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。									
R6	O701	新たに高校生も参加し、介護職場の正しい理解促進及び将来の介護人材育成を図ったものの、目標値を下回った。今後は、社会人が研修を受講しやすいよう、開催時期等の見直しを図っていきたい。									
	O702	養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されているため、当初の目標値を達成することが困難となっている。引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。									



R6年度	1 (実績評価) ・電話相談等の多様な相談手段により、前年を下回ったものの、相談件数は目標値を上回った。  (次年度修正点) ・相談件数はコロナ禍以降減少傾向にある。また、相談支援事業所及びその相談員が増えないため、修正はなし。
	2 (実績評価) ・発達障害などの軽度の障害に対する理解が進み、放課後デイサービス等、障がい児の利用者が増加した。また、令和6年度中に新規自立訓練事業所の開設もあり、利用者が前年度より増加した。  (次年度修正点) ・今後も相談支援事業所等からの報告を受け、障害福祉サービスの必要な方へ支給決定を行う。
	3 (実績評価) ・市内企業の障がい者雇用率は増加傾向にあるが、目標値までは達成していない状況である。  (次年度修正点) ・令和8年度以降法定雇用率が引き上げられるため、より一層ハローワーク伊東等と連携を強化し、法定雇用率の確保を目指す。
	4 (実績評価) ・障害者就労・生活支援センターや就労継続支援事業所の支援により、前年より微減であるが、目標値を上回った。  (次年度修正点) ・引き続き、ハローワーク伊東等と連携を図る。

2 基本的な取組（2桁コード）・主要内容（4桁コード）				指標数	9	9	9	9	9	※ 基本的な取組・主要内容の達成状況
				達成数	6	5	8	7	0	
				達成率	66.7%	55.6%	88.9%	77.8%	0.0%	
O1 相談体制及び情報提供の充実		達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	3	2	3	3	0		
			達成率	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%		
主要内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 相談支援の充実	相談支援事業所における専門職の割合	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			実績値	100	100	100	100			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O102 各相談会の広報への掲載	広報いとう及びホームページへの掲載回数	R1 12回	目標値	12	12	12	12	12	回	社会福祉課
			実績値	12	12	12	12			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O103 障がい福祉サービスについての情報提供の充実	新規障害福祉サービス利用者数	R1 86人	目標値	80	70	65	60	55	人	社会福祉課
			実績値	81	57	86	65			
			評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R3	O101 相談支援事業所の従事者については、全員が専門職である状況である。								
		O102 毎月、広報いとうに相談会の日程を掲載した。								
		O103 児童の事業所が新規開設したことが一因と考えられるが、新規利用者数の目標値を達成できた。								
	R4	O101 令和4年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。								
		O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。								
		O103 目標値を下回ったものの、これまで障がい福祉サービスを利用していなかった対象者に周知することで、新規利用につながった。その結果、継続者を含む支給決定者数（障害福祉サービス利用者の実数）が増加していることに伴い、今後の新規障がい福祉サービス利用者数の減が見込まれることから、目標値を変更した。								
	R5	O101 令和5年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。								
		O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。								
		O103 障害児福祉サービスの新規利用者が大幅に増加したことによる。								
	R6	O101 令和6年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。								
		O102 補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。								
		O103 令和6年度の新規利用者の内訳は、身体13人、知的9人、精神23人、障がい児20人となり、前年を下回ったものの、目標値を上回った。								



O2 障がい福祉サービスの充実			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	0	1	1	0		
				達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会における障がい福祉サービス事業所との協議及び連携による問題解決	熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会の専門部会における事例検討会の実施回数	R1	目標値	7	7	4 (7)	4 (7)	4 (7)	回	社会福祉課
				実績値	3	0	6	6			
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成			
			6回							以上	
年度評価	R3	O201 専門部会がリモートでの開催となり、事例検討を行う機会が少なくなり、目標を達成できなかった。									
	R4	O201 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催によって課題検討が多く行われた。今後、障がい福祉サービスの充実を目的として、課題検討や講師を招いた勉強会を開催するとともに、各部会にて年1回以上は事例検討会を実施する。今後も、事例検討会以外の対応策を講じることから、目標値を変更した。									
	R5	O201 対面にて専門部会を行い、3つの専門部会において、事例検討会を行った。									
	R6	O201 3つの専門部会において、事例検討会（グループワーク）を行った。									

03	障がい者（児）への理解の促進・啓発		達成状況	指標数					単位	担当課	
				達成数	3	3	3	3			3
				達成率	1	1	2	2			0
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
0301	事業所授産品等の展示会・販売会の開催	障がい者による授産品の販売会の開催回数	R1	目標値	11	11	11	11	11	回	社会福祉課
			10回	実績値	1	8	13	11			
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
0302	障がい者（児）と地域の相互理解の促進	中高生に対する体験授業等及び障害者スポーツ大会の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	社会福祉課
			2回	実績値	0	1	1	1			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0303	障がい者（児）虐待防止のための啓発活動の充実	啓発活動（街頭啓発等）の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	社会福祉課
			1回	実績値	2	2	2	2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、1回のみの開催となった。										
	0302 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度の事業が中止となった。										
	0303 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。										
R4	0301 販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。										
	0302 障害者スポーツ大会の開催を予定していたが、開催直前に新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。										
	0303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。										
R5	0301 定期的な販売会以外に障害者就労施設等のPRのため、伊東マリンタウンにて販売会を行った。										
	0302 新型コロナウイルス感染防止のため、障がい者スポーツ大会を中止した。										
	0303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。										
R6	0301 定期的な販売会を市役所内にて行った。										
	0302 障がい者スポーツ大会開催前に新型コロナウイルス感染症が事業所内で蔓延していたことから、全体での開催を中止し、各事業所にて開催した。開催に当たり、景品代の助成をしたものの、地域との関わりはなかったため、今後は地域の相互理解の促進に向けた効果的なスポーツ大会の開催方法を検討していく。										
	0303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。										

O4 障がい者雇用の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	2	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	ハローワーク等の関係機関との連携	就労関係機関が参加する特別支援学校の就職相談会への参加回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	社会福祉課
			2回	実績値	2	2	2	2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O402	熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会就労支援部会の充実	就労問題に関する事例検討会の実施回数	R1	目標値	6	6	6	6	6	回	社会福祉課
			6回	実績値	6	16	14	5			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成				
年度評価	R3	O401 就労促進協議会に2回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。									
	R3	O402 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート会議となった場合もあったが、就労支援部会にて、障がい者の就労問題を協議した。									
	R4	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。									
	R4	O402 就労部会及びそれに付随する部会に参加した。									
	R4	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。									
評価	R5	O402 就労支援部会等で事例検討を行った。									
	R6	O401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて3年生の進路相談会に参加した。									
評価	R6	O402 就労支援部会等で事例検討を行ったが、目標値を下回った。引き続き、就労部会及びそれに付随する部会に参加し、増加を目指す。									



[illegible]

O3 福祉ボランティアの養成			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	2	2	3	3	0		
				達成率	66.7%	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	新規登録のための養成講座の開催	手話奉仕員養成講座への受講者数	R1	目標値	15	15	15	15	15	人	社会福祉課
			13人	実績値	15	12	17	17			
			評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
O302	登録者へのスキルアップ研修の開催	登録手話奉仕員基礎研修、点字、音訳講習会受講者数	R1	目標値	25	25	25	25	25	人	社会福祉課
			21人	実績値	11	25	25	32			
			評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O303	情報共有のための連絡会の開催	市内ボランティア団体による交流及び情報交換会の開催	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	社会福祉課
			11回	実績値	12	13	12	12			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	O301	初めて受講する手話奉仕員養成講座（入門編）については、16人の受講希望があり、そのうち15人が受講し、目標値を達成することができた。									
	O302	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音訳講習会が中止となり、目標値を下回った。手話奉仕員養成基礎講座及び点字講習会については、感染予防に配慮し実施した。									
	O303	社会福祉協議会においてボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）を開催し、グループでの間の交流、情報交換を図ることができた。									
R4	O301	手話奉仕員養成講座（入門編）の募集を広報いとう及び市内新聞に掲載したが、参加者が目標値に達しなかった。今後も手話奉仕員養成講座の開催時期や周知方法を検討しながら、手話奉仕員を養成する。									
	O302	音訳講習会を再開した。									
	O303	コロナ禍においても情報交換に努めるべく、感染拡大防止に努めながら情報交換会を実施した。									
R5	O301	テレビドラマ等の影響もあり、高校生も養成講座に参加した。									
	O302	音訳サークルから音訳講習会の中止の申出があったが、点字講習参加者が多く、目標を達成した。									
	O303	社会福祉協議会においてボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）を開催し、グループでの間の交流、情報交換を図ることができた。									
R6	O301	手話奉仕員養成講座は、多数の参加があり、目標値を上回った。									
	O302	音訳講習会を再開した。点字講習会は前年初級講座受講生がサークルへ加入したため、参加者が増加した。									
	O303	社会福祉協議会において、ボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）を開催し、グループでの間の交流、情報交換を図ることができた。									

O4	民生委員児童委員会による避難行動要支援者への支援活動		達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
	主な内容	管理指標	基準値	達成数	2	2	2	2	0	単位	担当課
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
O401	地域の避難行動要支援者の実情把握	実情把握のための名簿の配付状況	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			100%	実績値	100	100	100	100			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O402	必要な支援の実施	名簿登録者のうち、必要な対象者への個別計画票の作成状況	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			100%	実績値	100	100	100	100			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年度 評価	R3	O401 各地区定例会に出席し、名簿に関する取扱い方法等について説明を行ったのち、委員への配付を行った。									
	R3	O402 新規登録者について個別計画票の作成を行った。引き続き個別計画票に係る情報の充足を図りつつ、次のステップである個別避難計画の作成に向けた準備を進めていく。									
	R4	O401 民生委員児童委員会に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。									
	R4	O402 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。									
	R5	O401 民生委員児童委員会に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。									
	R5	O402 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。									
	R6	O401 民生委員児童委員会に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。									
	R6	O402 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。									



O5	生活困窮者等に対する相談支援の充実	達成状況	指標数	5	5	5	5	5	単位	担当課	
			達成数	3	3	2	2	0			
			達成率	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O501	自立相談支援	月当たりの平均新規相談者件数	R1 国目安	目標値	11	11	11	11	11	件	社会福祉課
			人口10万人当たり16件	実績値	21	14	12	11			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O502	家計改善支援	家計再生プラン作成件数/自立相談支援プラン策定件数	H30～R2	目標値	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	%	社会福祉課
			32.79%	実績値	26.0	25.0	16.7	7.7			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O503	住居確保支援	住居確保給付金支給件数	R1 国目安	目標値	4	4	4	4	4	件	社会福祉課
			人口10万人当たり6件	実績値	24	4	0	1			
			評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
O504	一時生活支援	仮住居の確保数	R2	目標値	2	2	2	2	2	部屋	社会福祉課
			2 部屋	実績値	2	2	2	2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O505	就労準備支援事業	支援者数	H27～R1	目標値	5	5	4	4	4	人	社会福祉課
			年平均	実績値	0	1	1	3			
			3.2人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
R3	O501 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、相談件数が目標値より大幅に上回った。										
	O502 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、離職や収入減による相談が多く、家計の改善支援を要する対象者の占める割合が目標値を下回った。										
	O503 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、支給件数が目標値より大幅に上回った。										
	O504 特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内11市と共同で単年度で契約し、仮住居を確保することができた。										
	O505 支援対象者の早期支援を目指したが、支援対象者の掘り起こしにはつながらなかった。										
R4	O501 件数は前年度の2/3に減少したが、依然としてコロナ禍の影響を受け、目標値を上回った。										
	O502 コロナ禍の長期化の影響を受けた離職や収入減による支援対象者が多く、家計改善を要する対象者の占める割合が低かったため目標値を下回った。引き続き、支援対象者への対応の中で家計改善が必要とされるケースについては、家計再生プランの作成を積極的に助めていく。										
	O503 件数は前年度の1/6にまで減少したが、年間を通して支給決定しており、今後も一定数の申請・支給決定が予想される。										
	O504 前年度に引き続き、特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内11市と共同で単年度で契約し、仮住居を安定的に確保することができた。										
	O505 支援対象者となる稼働年齢層が減少傾向にあることから目標値をやや下方修正するとともに、事業の周知が不十分だったことも考えられるため、改めて、支援対象者となり得るケースに対しては積極的に事業利用を促す等、支援対象者の掘り起こしを図っていく。										
R5	O501 件数は前年度に引き続き減少したが、依然としてコロナ禍の影響を受け、目標値を上回った。										
	O502 収入減による支援対象者が多く、家計改善を要する対象者が少なかったため目標値を下回った。引き続き、対応の中で家計改善が必要とされるケースについては、積極的に家計再生プランの作成を助めていく。										
	O503 相談件数も2件に留まり、初の支給件数0件であった。有効求人倍率もコロナ禍前に迫る回復をしており、離職者の減少が影響したと思われる。また、支給回数に限りがある制度のため、利用者も一巡したの考える。										
	O504 前年度に引き続き、特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内12市と共同で単年度で契約し、仮住居を安定的に確保することができた。										
	O505 自立相談支援事業の利用者で、事業の対象となる者に対して事業の利用を助めてきた。引き続き、支援対象者となり得るケースに対しては積極的に事業利用を促す等、支援対象者の掘り起こしを図っていく。										
R6	O501 有効求人倍率はコロナ禍前と同程度に回復し、前年度に引き続き相談件数が減少したが、目標値と同数となった。										
	O502 収入減による支援対象者が多く、家計改善を要する対象者が少なかったため目標値を下回った。引き続き、対応の中で家計改善が必要とされるケースについては、積極的に家計再生プランの作成を助めていく。										
	O503 有効求人倍率がコロナ禍前と同程度に回復し、離職者の減少が相談件数に影響したと思われる。なお、今年度1件の受給者は前回給付金を利用し再離職したため申請に至ったものである。										
	O504 前年度に引き続き、特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内12市と共同で単年度で契約し、仮住居を安定的に確保することができた。										
	O505 自立相談支援事業の利用者で、事業の対象となる者に対して事業の利用を助めてきた。引き続き、支援対象者となり得るケースに対しては積極的に事業利用を促す等、支援対象者の掘り起こしを図っていく。										



O2 男女共同参画社会の推進				達成状況	指標数	1	1	1	1	1			
					達成数	0	0	0	0	0			
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容				管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O201	伊東市男女共同参画「あすを奏でるハーモニープラン」における取組の充実			男女共同参画社会の推進に満足している市民の割合（市民満足度調査）	R2  64.9%	目標値	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	%	市民課
						実績値	58.5	56.4	60.8	62.0			
						評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
							以上						
年度評価	R3	O201 令和3年3月改定の第3次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課ではホームページ等による情報発信のほか、新たに広報紙を利用した継続的な啓発を開始したが、目標値未達成であった。令和4年度においても一層の情報発信と継続的な啓発を行う。											
	R4	O201 第3次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課では街頭啓発活動や講演会の実施、ホームページ等による情報発信のほか、広報紙による継続的な啓発を実施しているが目標値未達成であった。令和5年度においても一層の情報発信と継続的な啓発を行う。											
	R5	O201 第3次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課では街頭啓発活動や講演会の実施、ホームページ等による情報発信のほか、広報紙による継続的な啓発を実施しているが目標値未達成であった。次年度へ向けて更なる取組強化を図る。											
	R6	O201 第3次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課では街頭啓発活動や講演会の実施、ホームページ等による情報発信のほか、広報紙による継続的な啓発を実施し前年を上回る実績値となったが、目標値未達成であった。次年度へ向けて更なる取組強化を図る。											

05 障がい者（児）への理解の促進・啓発			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	1	1	2	2	0			
			達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	事業所授産品等の展示会・販売会の開催	障がい者による授産品の販売会の開催回数	R1	目標値	11	11	11	11	11	回	社会福祉課
			10回	実績値	1	8	13	11			
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
0502	障がい者（児）と地域の相互理解の促進	中高生に対する体験授業等及び障害者スポーツ大会の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	社会福祉課
			2回	実績値	0	1	1	1			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0503	障がい者（児）虐待防止のための啓発活動の充実	啓発活動（街頭啓発等）の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	社会福祉課
			1回	実績値	2	2	2	2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0501 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、1回のみの開催となった。										
	0502 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度の事業が中止となった。										
	0503 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。										
R4	0501 販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。										
	0502 障害者スポーツ大会の開催を予定していたが、開催直前に新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。										
	0503 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。										
R5	0501 定期的な販売会以外に障害者就労施設等のPRのため、伊東マリンタウンにて販売会を行った。										
	0502 新型コロナウイルス感染防止のため、障がい者スポーツ大会を中止した。										
	0503 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。										
R6	0501 定期的な販売会を市役所内にて行った。										
	0502 障がい者スポーツ大会開催前に新型コロナウイルス感染症が事業所内で蔓延していたことから、全体での開催を中止し、各事業所にて開催した。開催に当たり、景品代の助成をしたものの、地域との関わりはなかったため、今後は地域の相互理解の促進に向けた効果的なスポーツ大会の開催方法を検討していく。										
	0503 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。										

06 障がい者雇用の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	2	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601	ハローワーク等の関係機関との連携	就労関係機関が参加する特別支援学校の就職相談会への参加回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	社会福祉課
			2回	実績値	2	2	2	2			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0602	熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会就労支援部会の充実	就労問題に関する事例検討会の実施回数	R1	目標値	6	6	6	6	6	回	社会福祉課
			6回	実績値	6	16	14	5			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成		以上		
年度評価	R3	0601 就労促進協議会に2回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。									
		0602 新型コロナウイルス感染防止のため、リモート会議となった場合もあったが、就労支援部会にて、障がい者の就労問題を協議した。									
	R4	0601 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。									
		0602 就労部会及びそれに付随する部会に参加した。									
	R5	0601 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。									
	0602 就労支援部会等で事例検討を行った。										
R6	0601 東部特別支援学校伊豆高原分校にて3年生の進路相談会に参加した。										
	0602 就労支援部会等で事例検討を行ったが、目標値を下回った。引き続き、就労部会及びそれに付随する部会に参加し、増加を目指す。										



担当課	保険年金課、健康推進課		施策２－９の全指標達成率					
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	9	保険・年金制度の運営	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿		制度加入者が制度の理解を深め、生涯にわたり安心して保険・年金サービス享受できる	達成数	9	9	9	11	0
			達成率	60.0%	60.0%	60.0%	73.3%	0.0%

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	7	7	7	9	0		
				達成率	53.8%	53.8%	53.8%	69.2%	0.0%		
O1 情報提供の充実			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	窓口配架、広報紙、ホームページの活用、被保険者証や保険料（税）通知書へのパンフレット同封による配布	広報実施回数	R1	目標値	27	28	29	30	31	回	保険年金課
			26回	実績値	36	37	42	41			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上		
年度評価	R3	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。									
	R4	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。									
	R5	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。									
	R6	O101 市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。									

O2 相談業務の充実			達成状況	指標数	4	4	4	4	0		
				達成数	3	3	4	4	0		
				達成率	75.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	関係機関との連携※9	未納者対策用所得情報提供回数※9	R1	目標値	3	3	—	—	—	回	保険年金課
			3回	実績値	1	1	—	—	—		
			評価	× 未達成	× 未達成	—	—	—			
O202	説明会・研修会への参加	参加回数	R1	目標値	27	27	27	27	27	回	保険年金課
			27回	実績値	34	27	27	27			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O203	窓口・電話対応	課内研修回数	R1	目標値	4	4	4	4	4	回	保険年金課
			4回	実績値	4	4	4	4			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O204	相談会の実施	開催回数	R1	目標値	54	54	54	54	54	回	保険年金課
			54回	実績値	54	54	60	54			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O205	関係機関との連携 ※9	所得情報提8回数 ※9	R1	目標値	—	—	2	2	2	回	保険年金課
			3回	実績値	—	—	2	2			
			評価	—	—	○ 達成	○ 達成				
R3	O201 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来と比べ規模が縮小されたため、目標の達成には至らなかった。										
	O202 リモートや書面開催により、従来以上の参加回数が確保されたため、目標が達成できた。										
	O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。										
	O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標が達成できた。										
R4	O201 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで、未納者の情報提供をする機会がなくなったことから、目標未達成となった。今後もマイナンバーによる連携を行うため、管理指標を見直し、管理指標O205を新設した。										
	O202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。										
	O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。										
	O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。										
R5	O205 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで情報提供回数等が減ったため、管理指標を新設した。										
	O202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。										
	O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。										
	O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。										
R6	O205 年金機構への所得情報提供（免除及び年金生活者支援給付金）を行ったため、目標を達成できた。										
	O202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。										
	O203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。										
	O204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。										
O205 年金機構への所得情報提供（免除及び年金生活者支援給付金）を行ったため、目標を達成できた。											

※9 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで情報提供回数等が減ったため、管理指標O201を改め、管理指標O205を新設した。

O3 保険料（税）収納率向上			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	2	2	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	口座振替等の便利な納付方法や減免制度についての周知強化	広報実施回数	R1	目標値	6	6	6	6	6	回	保険年金課
			6回	実績値	8	11	18	18			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O302	各種手続・相談時の案内強化	課内研修回数	R1	目標値	4	4	4	4	4	回	保険年金課
			4回	実績値	4	4	4	4			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R3	O301 市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。									
	R4	O302 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。									
年度評価	R5	O301 市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。									
	R6	O302 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。									
年度評価	R7	O301 市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。									
	R8	O302 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。									

O4 医療費適正化への取組			達成状況	指標数	6	6	6	6	6		
				達成数	1	1	0	2	0		
				達成率	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	ジェネリック医薬品の普及促進	ジェネリック医薬品使用割合	R1	目標値	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0	%	保険年金課
			実績値	77.1	78.4	78.4	84.0				
			評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成	○ 達成				
O402	特定健康診査の実施 ※10	受診率	R1	目標値	56.5	58.0	60.0	45.0	48.0	%	健康推進課
			実績値	42.2	45.3	46.8	46.3				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
O403	後期高齢者健康診査の実施	受診率	R1	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	%	健康推進課
			実績値	33.9	36.5	38.4	33.9				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O404	一日人間ドックの実施	受診者数（国保）	R1	目標値	400	400	400	400	400	人	健康推進課
			実績値	315	330	314	313				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
		受診者数（後期高齢）	R1	目標値	130	150	180	180	180	人	健康推進課
			実績値	121	149	150	156				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O405	健康指導の実施 ※10	特定保健指導実施率	R1	目標値	49.0	54.0	60.0	35.0	40.0	%	健康推進課
			実績値	30.5	26.3	18.6	16.6				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
R3	O401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。										
	O402 新型コロナウイルス感染症拡大により、受診控えなどの影響に加え、積極的な受診勧奨を控えていた時期等があったため、受診率は減少した。										
	O403 後期高齢者被保険者対象者の増加傾向にあわせて、受診率は増加している。										
	O404 （国保）応募は345人だったが、最終的に30人が未受診となった。新型コロナウイルス感染状況の影響もあったと考える。（後期）応募は145人だったが、最終的に9人が未受診となった。国保同様の理由が一因と思われる。										
	O405 保健師等からの電話による利用勧奨や、医療機関等による利用勧奨などを実施しているが、勧奨通知だけでは利用に至らないケースが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。										
R4	O401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。										
	O402 特定健診は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるものの、勧奨等に工夫を加え受診行動に繋げるよう取り組んだことで、前年度を上回った受診率となったが、目標には至らなかった。引き続き県等の助言を受けながら、勧奨等に工夫を加え、受診対象者の行動変容を促したい。										
	O403 目標値を下回ったものの、後期高齢者健診事業では堅実な増加傾向がある。引き続き、目標達成に向けて事業周知をしていき、受診率の向上に繋げる。										
	O404 国保）応募は358人だったが、最終的に28人が未受診となった。後期）応募は172人だったが、最終的に23人が未受診となった。国保は被保険者の減少傾向に応じた検討を図り、後期は被保険者の増加に応じて定員増を図ったが定員に達しなかった。今後は応募及び被保険者の増減動向を見極めた募集定員設定等の対応を図りたい。受診者数の定員を増やしたことに伴い、目標値を修正した。										
	O405 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。ICTの活用など、対象者も気軽に利用できるサービス提供に努めたい。										
R5	O401 メーカーの薬機法違反を契機とした供給量の低下や、新型コロナウイルス感染拡大による需要の増加により、メーカーの限定出荷による供給不足が続いたため、目標を達成できなかった。										
	O402 前年比増となった。継続的受診勧奨事業が有効であった。今後の課題である未受診者へのアプローチを検討していく。										
	O403 前年比増となった。国民健康保険で特定健診を受診した被保険者の継続受診が習慣化したものと推察する。引き続き、受診機会を維持提供していく。										
	O404 （国保）応募は346人だったが、最終的に32人が未受診となった。（後期）応募は160人だったが、最終的に10人が未受診となった。広報等で募集案内をしているが、定員に満たなかったため、新たなデバイス（スマホ、PC）からの募集方法を図り、定員確保に努める。										
	O405 特定保健指導対象者に対して面談方法等の機会を複数用意しているが、40、50歳代の利用率の低さに加えて、勧奨専門職員の確保が困難であった。引き続き、有資格者専門職人員の安定的確保を図り、事業の充実に努めていく。										
R6	O401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。										
	O402 伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画で設定した目標は達成できたが、前年比0.5ポイントの減となった。健診未受診者の多くが治療中であるため、医療機関と連携して受診勧奨を行い、生活習慣病の重症化予防につなげていく。										
	O403 今年度初めて前年度の受診率を下回った。医療も健診も受診していない健康状態不明者に対して事業周知をしていき、受診率の向上につなげる。										
	O404 （国保）応募は363人だったが50人が未受診となった。（後期）応募は205人だったが当選者24人が未受診となった。令和6年度から広報等での募集案内に加え、インターネット（ロゴフォーム）からの申請を導入し、申込者数は国保、後期高齢者ともに前年度より増加したが、未受診者数も増加した。未受診となる理由を把握し、検査内容等を検討する。										
	O405 前年度比2ポイントの減となり目標未達成となった。特定保健指導の初回利用率の低下が要因となっているため、オンラインでの実施など利用者が取り組みやすい環境を整えるとともに特定保健指導の効果を周知し、実施率の増加を図り、生活習慣病を予防していく。										

※10 令和6年度及び7年度の目標値については、伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画に基づき、再設定した。